

第14回日本子ども健康科学会学術大会 (子どもの心・体と環境を考える会)

Japanese Society of Health Science for Children

《 子どもたちにもっと快を！ 》

会長 神山 潤

(公益社団法人地域医療振興協会 東京ベイ浦安市川医療センター)

会期 平成24年12月1日(土) - 2日(日)

会場 東京医科歯科大学 MD タワー2階鈴木章夫記念講堂

住所: 〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

最寄駅: 東京メトロ丸の内線 御茶ノ水駅下車 すぐ、JR 御茶ノ水駅下車1分

後援 厚生労働省 文部科学省 公益社団法人地域医療振興協会 (申請中も含む)

日本子ども健康科学会

<http://www.jshsc.jp/>

ごあいさつ

この度、第14回日本子ども健康科学学会学術大会を担当させていただくこととなりました、公益社団法人地域医療振興協会東京ベイ浦安市川医療センターCEOの神山です。開催にあたりまして、多くの皆様のお力添えをいただき、心より感謝申し上げます。

『ヒトは寝て食べて出すことで、十二分な活動ができるようプログラムされている動物だ。言い換えるならば、眠食便活がヒトという動物の基本的行動パターンだ。しかし今、あまりにこれらのことが疎かにされすぎてはいないだろうか？身体はいちばん身近な自然であるにも関わらず、その認識がなく、理屈で身体を支配しようとしている現代人の思考パターンに、子どもたちも完全に毒されている。動物の基本は快を求めること。にもかかわらず、快であろうと不快であろうと、身体感覚にあまりに無頓着な現代人。』これは昨年発刊した神山が編集した単行本「四快のすすめ」の冒頭の一節です。また同書のエピローグには次のように記しました。『「疲れてもがんばれ！」これは8-14歳向けのドリンク剤（リ○ビ○ンジュ○ア）に書かれていた宣伝文句だ。子どもたちを疲れても頑張らせ、子どもたちを病気にして、薬で儲けようという魂胆なのか、とすら勘ぐってしまう以上に、子どもたちがこのドリンク剤を手にする状況を想像すると背筋が寒くなる。子どもたちは自分で買って飲むのだろうか？親が買い与えるのであろうか？（塾）教師が手渡すのであろうか？呆れる。情けない。哀しい。いったい日本ではどこまで子どもをないがしろにして、いじめれば気がすむのであろうか？全く子どもを守れない国だ。心が痛む。』

以上が本学会のテーマを「子どもたちにもっと快を！」にさせていただいた所以です。基調講演と公開シンポジウムはこのテーマに従った内容としました。動物であるヒトという生物の活動の基本原理である「快」を見直し、その価値を高める必要があるのではないかとの思いが根底にあります。参加者の皆さまにとって、世の中が多少とも変わって見えることを期待しての企画です。

これ以外の教育講演4題、シンポジウム3件も充実した内容と自負しています。まず教育講演ですが、4題を12月1日土曜日に、予防接種、読み聞かせ、歯科治療、虐待とテーマは多彩ですが、それぞれ専門の先生方にじっくりと語っていただきます。シンポジウムは12月2日日曜日丸1日を費やして3つのテーマで議論していただきます。日本小児神経学会後援の心理士に関する話題、日本小児科学会後援の子どもたちを取り巻く他職種の話、そして311の話です。腰を据えて子どもをそして社会を考える機会にして頂ければと思います。

本当にお金をかけずに手作りの学会にしました。おそらく数多くの行き届かない点があるかと思いますが。多くの素晴らしい仲間のサポートによって実現できた、私が自信を持ってお送りできる内容に免じてご容赦いただければと存じます。子どもばかりでなく、大人ももっと素直に「快」を語る毎日を目指すきっかけにこの2日間がなれば私としては存外の幸せです。

2012年12月吉日
第14回日本子ども健康科学学会学術大会 会長
神山 潤

第 14 回学術大会ならびに総会開催要項

1. 第 14 回学術大会

会期 平成 24 年 12 月 1 日(土) 9:25~16:55

平成 24 年 12 月 2 日(日) 9:30~17:30

会場 東京医科歯科大学 MD タワー2階鈴木章夫記念講堂

住所:〒113-8510 東京都文京区湯島 1-5-45

東京メトロ丸ノ内線御茶ノ水駅下車すぐ、JR 御茶ノ水駅下車1分

2. 懇親会

平成 24 年 12 月 1 日(土)17:30~19:30

会場 東京医科歯科大学医学部附属病院 16 階 オークラカフェ&レストラン

3. 理事会

平成 24 年 12 月 2 日(日)11:30~13:00

会場 東京医科歯科大学 MD タワー2階鈴木章夫記念講堂隣の共用講義室 2 奥

4. 総会

平成 24 年 12 月 2 日(日)13:00~13:25

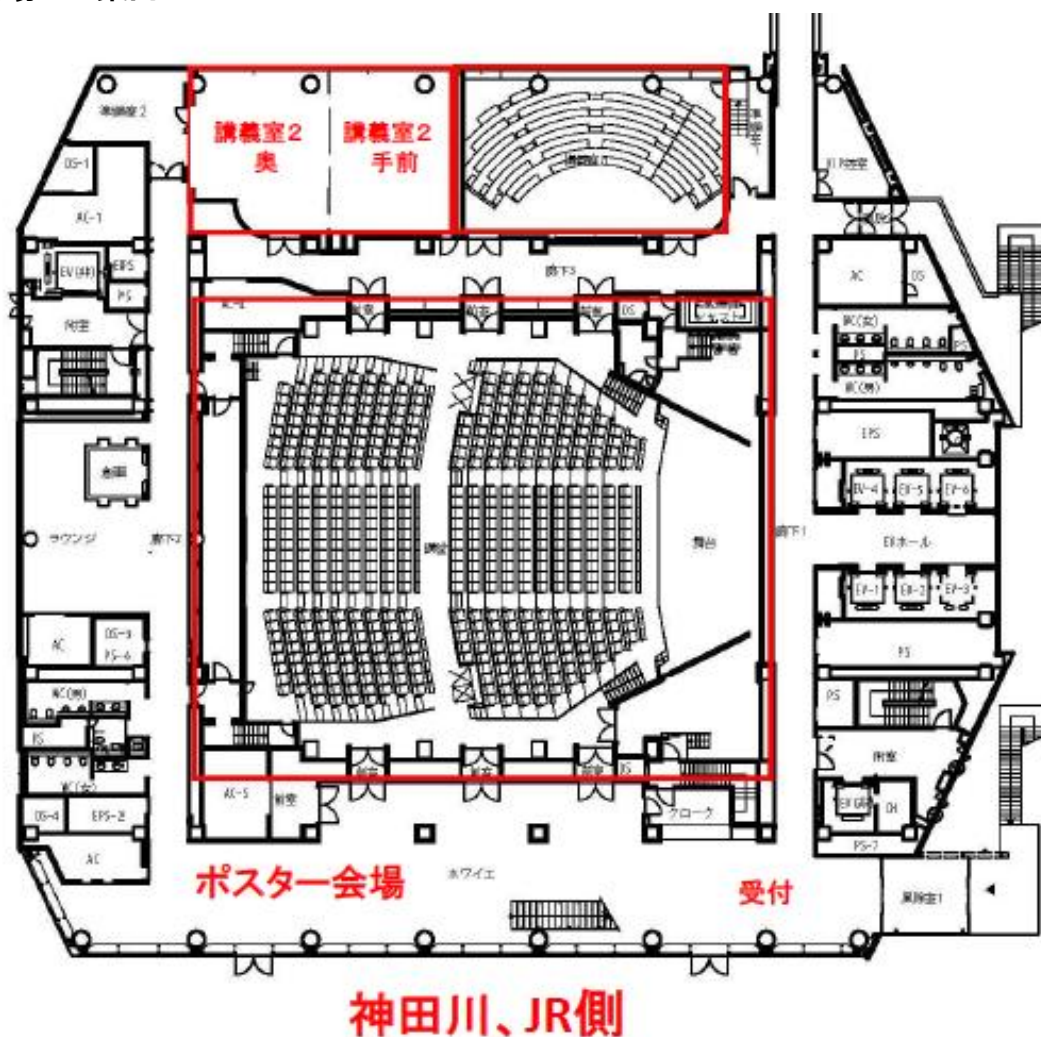
会場 東京医科歯科大学 MD タワー2階鈴木章夫記念講堂

5. 交通のご案内



⑪MD タワーの2階が鈴木章夫記念講堂、⑨の16階が懇親会場です。

6. 会場のご案内



7. 参加者へのご案内

★ 参加受付

① 受付

- ・受付場所は、MD タワー2階鈴木章夫記念講堂入口です。
- ・受付時間は 12月1日(土):8時30分~16:00、12月2日(日):8時30分~15:00です。

② 参加費

- ・ご参加の方は、当日に受付で参加費をお支払い下さい。
会員 4000 円、非会員 5000 円、学生(学生証ご持参下さい) 1000 円。
- ・参加証(領収証兼用)は、氏名、所属をご記入の上、学会期間中は常にお付け下さい。
- ・基調講演、公開シンポジウムのみに参加の方は無料で、参加証も不要です。

② 懇親会参加受付

- ・懇親会参加希望の方は、1日(土)受付時に参加費 3000 円を添えてお申し込みください。

③ 年会費・入会手続き

- ・年会費のお支払いや、入会手続きは、当日受付にても承ります。
- ・年会費は、正会員 5000 円、学生会員 4000 円となっております。

★ クローク

- ・ クロークは用意しますが手狭です。なるべくお荷物は、ご自身でお持ちください。

★ 昼食・休憩

- ・ 会場周辺、御茶ノ水駅近辺には、昼食のための飲食店および店舗があります。
- ・ 会場の鈴木章夫記念講堂では、飲食は出来ません。ご留意願います。
- ・ 飲み物の自動販売機は、講堂の後方ラウンジ内(講堂外)にあります。

★ 喫煙

- ・ 会場内は全面禁煙となっております。

★ 懇親会

- ・ 日時 : 12月1日(土) 17:30~19:30
- ・ 場所 : 東京医科歯科大学医学部附属病院 16階 オークラカフェ&レストラン
- ・ 会費 : 3000円
- ・ 参加ご希望の方は、当日、受付にてお申し込み下さい。

★ 書籍展示

- ・ ホワイエにて書籍の展示を行っております。

★ 各種会議・打ち合わせ;

東京医科歯科大学 MD タワー2階鈴木章夫記念講堂隣の共用講義室 2 手前

- ① 教育講演1 打ち合わせ:1日(土) 09:00~9:30
- ② 教育講演2 打ち合わせ:1日(土) 09:30~10:15
- ③ 教育講演3 打ち合わせ:1日(土) 10:30~11:00
- ④ 教育講演4 打ち合わせ:1日(土) 12:00~12:30
- ⑤ 基調講演 打ち合わせ:1日(土) 12:30~13:00
- ⑥ 公開シンポジウム 打ち合わせ:1日(土) 13:15~14:00
- ⑦ シンポジウム1 打ち合わせ:2日(日) 09:00~9:30
- ⑧ シンポジウム2 打ち合わせ:2日(日) 11:30~13:30
- ⑨ シンポジウム3 打ち合わせ:2日(日) 14:30~15:30

★ 駐車場 構内の駐車スペースはほとんどありません。公共交通機関をご利用ください。

★ 大会本部 東京医科歯科大学 MD タワー2階鈴木章夫記念講堂隣の共用講義室 2 奥
緊急連絡用携帯電話 神山 (090-6124-5177)

8. 口演プログラム

12月1日(土)

開会

12月1日(土) 9:25

教育講演 1

予防接種で子どもの健康を守る

日程: 12月1日(土) 9:30-10:10

座長: 松原知代 (順天堂大学医学部附属浦安病院小児科先任准教授)

演者: 野々山恵章 (防衛医科大学校小児科教授)

教育講演 2

脳活動から見た、読み聞かせ、歌いかけの効用

日程: 12月1日(土) 10:15-10:55

座長: 大矢幸弘 (国立成育医療研究センターアレルギー科医長)

演者: 泰羅雅登 (東京医科歯科大学・大学院医歯学総合研究科認知神経生物学分野教授)

教育講演 3

子どもの歯科治療の不快をなくす

日程: 12月1日(土) 11:00-11:40

座長: 畠井芳穂 (東京ベイ浦安市川医療センター副センター長)

演者: 三輪全三 (東京医科歯科大学歯学部附属病院小児歯科外来講師)

ポスター

昼食時に自由閲覧; 11:45-13:15

教育講演 4

日本の子ども虐待の歴史と今日の課題

日程: 12月1日(土) 13:15-13:55

座長: 宮尾益知 (国立成育医療研究センターこころの診療部発達心理科医長)

演者: 渡部誠一 (土浦協同病院小児科部長)

基調講演

子どもの気持ちがよくわかる! 魔法の法則!

日程: 12月1日(土) 14:00-14:55

座長: 下条直樹 (千葉大学大学院医学研究院小児病態学准教授)

演者: カムジー (子どもの心を楽しく鍛える名人)

公開シンポジウム

快を広める

日程: 12月1日(土) 15:00-16:55

司会: 井出留美 (office 3.11 代表、女子栄養大学栄養科学研究所客員研究員、博士(栄養学))

演題・演者:

朝昼晩に食べる快	宮島則子 (NPO青果物健康推進協会顧問、学習院女子大学非常勤講師)
朝出す快	加藤篤 (NPO法人日本トイレ研究所)
昼間身体を動かす快	飯田悠佳子 (国立精神・神経医療研究センター)
夜早く寝る快	星野恭子 (南和歌山医療センター小児科、子どもの早起きをすすめる会)

懇親会

会場: 16階 オークラカフェ&レストラン メディコ

日程: 12月1日(土) 17:30-

参加費 3000円

12月2日(日)

シンポジウム1

子どものこころを支援する心理士の役割 (日本小児神経学会後援シンポジウム)

日程：12月2日(日) 9:30-11:25

座長：作田亮一(獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター教授)

山本淳一(慶応大学教授)

演題・演者：

小児医療における心理士の資格認定の問題	作田亮一
こどもの心身症と心理療法	田副真美(ルーテル学院大学准教授)
子どもの視覚発達とこころ	金沢創(日本女子大学准教授)
発達障害児に対する新しい療育の開発	山本淳一

ポスター

昼食時に自由閲覧；11:30-13:00

総会

12月2日(日) 13:00-13:25

シンポジウム2

第3回病棟のこどもたちをサポートする多職種のコラボレーション(日本小児科学会後援シンポジウム)

日程：12月2日(日) 13:30-15:25

座長：齋藤正博(順天堂大学小児科准教授)

麦島秀雄(日本大学小児科教授)

演者・演者

チームの一員として子どもの療養生活と成長を見守ること 松井基子(茨城こども病院チャイルドライフスペシャリスト)
「ホスピタルプレイを使った総合病院における子どものサポート体制の構築」～外来検査にかかわって～
大矢佳代(聖隷浜松病院ホスピタルプレイスペシャリスト)

小児医療における育児支援を通しての多職種との連携 上出香波(川崎市立多摩病院医療保育専門士)

NICUにおける多職種のコラボレーション～臨床心理士の立場から～

宮田理恵(昭和大学臨床心理士)

順天堂医院小児病棟における子ども療養支援士の活動

伊藤智美(順天堂大学小児科子ども療養支援士)

シンポジウム3

東北大震災から632日：子ども達と父母達が受けた心の痛みに私たちが今、そしてこれから何を行うべきか？

日程：12月2日(日) 15:30-17:25

座長：奥山眞紀子(国立成育医療研究センターこころの診療部部長、

東日本大震災中央子ども支援センター副センター長)

田中大介(昭和大学附属豊洲病院小児科准教授)

演題・演者

決して忘れることなく、

それぞれの支援を続けていくために 田中大介

早期救援隊に参加して

大戸秀恭(昭和大学横浜市北部病院こどもセンター)

警察における対応

松本光弘(元・福島県警察本部長 現・警察庁長官官房人事課長)

地元小児科医としての対応

菊池信太郎(菊池医院こどもクリニック)

今後の支援を考える

奥山眞紀子

ディスカッション

閉会

12月2日(日) 17:30

閉会挨拶 神山 潤(東京ベイ・浦安市川医療センターCEO)

次期大会長挨拶 宇理須厚雄(藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科教授)

9. ポスタープログラム

01. 子どもの精神分析的心理療法における「行き詰まり」に関する研究-児童期の被虐待ケースを中心に-
吉沢伸一(よしざわ しんいち)(ファミリーメンタルクリニックまつたに)
02. 咀嚼にかかわる日常的・継続的な食育を支援する教材の検討
佐藤ななえ(さとう ななえ)(盛岡大学栄養科学部栄養学科)ら、
03. 温熱療法テルミーの療術援助が成功する要因-乳幼児の皮膚トラブルへのアプローチから-
谷川友美(たにがわ ともみ)(別府大学・短期大学部・初等教育科)
04. ヒブッキープロジェクトの紹介
神山 潤(こうやま じゅん)(東京ベイ浦安市川医療センター)
05. 「メディア漬けはいけない」という説の理論的欠陥について
神田 進(かんだ すすむ)(八戸市立市民病院小児科)
06. 保育士と看護職と協働で行う健康保育～保育士からみた健康保育の効果～
宮城由美子(みやぎ ゆみこ)(福岡県立大学看護学部)ら
07. 保育所における慢性疾患をもつ子どもへの支援
田中美樹(たなか みき)(福岡県立大学看護学部)ら
08. 術前オリエンテーション「オペラチャンツアー」の報告と今後の課題
大森頌子(おおもり しょうこ)(あいち小児保健医療総合センター総合診療部チャイルドライフ担当)ら
09. 介護等体験をとおしての生きがい感の変容に関する研究-障害者との同居の影響-
藤平洋子(とうへい ようこ)(帝京平成大学現代ライフ学部児童学科)ら
10. 病弱児の学習空白の実態に関する研究-病気の種類別学習空白の期間について-
深川美砂子(元佐賀県立ろう学校)ら
11. レアシンドローム児の出生に伴って母親が直面する心理的苦悩-Prada-Willi 症候群児の母親による
FGIを通して-
堤俊彦(つつみ としひこ)(福山大学)ら
12. 慢性疾患児を巡る教育機関での養護教諭の役割の考察:パイロットサーベイの検討
河合洋子(かわい ようこ)(宝塚大学看護学部)ら
13. 日本における Kiddy-KINDL^R Questionnaire「幼児版 QOL 尺度親用」の検討
山口豊一(やまぐち とよかず)(跡見学園女子大学)ら
14. 小児外科手術患児ならびに家族へのプレパレーションの検討
門脇 由実(かどわき ゆみ)(東京ベイ浦安市川医療センター)ら

10. 発表者へのご案内

★ 基調講演 教育講演 シンポジウム

- ① 基調講演、教育講演、シンポジウムはすべて鈴木章夫記念講堂にて行われます。
- ② 会場には、PC、液晶プロジェクターが設置されております。PC の持ち込み使用はご遠慮願います。確実な動作を保証しかねます。使用アプリケーションは、Windows 版 PowerPoint2007 スライドショーです。大変申し訳ないのですが MAC での確実な動作が保証できません。
- ③ 可能な限りプレゼンテーション原稿を 2012 年 11 月 24 日(土)までに、神山あて(e-mail: j-kohyama@jadecom.or.jp)にお送り下さい。また動画や音声がある場合にはあらかじめお知らせいただきたいと思ひます。プレゼンテーション原稿は添付ファイルとしてお送りいただいても、大容量ファイル送付用のサービス（例えば 宅ふあいる便）を利用してお送りいただいても構いません。ただしファイル名には、必ず演者名をお入れください。前もっての送付が困難な場合にはデータを当日 USB にてお持ちください。ただしその場合講演前の動作確認ができません。予めご承知おき願ひます。大変なご不便をおかけしますが、何卒ご理解の上、ご協力のほどお願ひいたします。

★ 一般演題(ポスター発表)

- ① 発表形式はポスター発表とします。
- ② ポスター会場はホワイエです。
- ③ パネルの大きさは、横 90cm×縦 210cmです。
発表者の方は、なるべく1日(土)11:00 までに、受付にてポスター受付を済ませてください。発表者リボンと画鋏をお渡しします。
- ④ 可能な限り1日(土)11:30 までに、所定のポスターパネル(演題番号が示されています)にポスターを貼ってください。
- ⑤ 口頭での発表時間は決めていません。1、2日とも昼休みをポスター展示時間としています。可能な限りポスター前での待機をお願ひします
- ⑥ ポスターは12月2日15:00までに撤去してください。残された掲示物があった場合は事務局にて撤去させていただきます。

第 14 回日本子ども健康科学会学術大会賛助団体御芳名

後援名義

文部科学省、厚生労働省、公益社団法人地域医療振興協会

寄付

公設宮代福祉医療センター

東海村立病院

東京医科歯科大学医学部小児科学教室同窓会

東京北社会保険病院

東京ベイ浦安市川医療センター

市立奈良病院

練馬光が丘病院

横須賀市立うわまち病院

(50 音順 敬称略)

本学術大会開催にあたり、ご協力・ご協賛をいただき大変ありがとうございました。ここに謹んでご芳名を記し、心より御礼申し上げます。

2012 年 12 月 吉日
第 14 回日本子ども健康科学会学術大会
会長 神山 潤

日本子ども健康科学会(子どもの心・体と環境を考える会)学術大会

歴代会長

第1回	飯倉洋治	昭和大学医学部教授	1999.12.19
第2回	飯倉洋治	昭和大学医学部教授	2000.12.10
第3回	小林章雄	愛知医科大学医学部教授	2001.12.23
第4回	吾郷晋浩	文京学院大学大学院人間学部教授	2002.11.22-23
第5回	河野陽一	千葉大学大学院医学部教授	2003.12.12-13
第6回	長嶋正實	あいち小児保健総合センターセンター長	2004.12.4-5
第7回	奥山真紀子	国立成育医療センターこころの診療部部长	2005.12.3-4
第8回	近喰ふじ子	東京家政大学文学部心理教育学科教授	2006.12.16-17
第9回	大矢幸弘	国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科医長	2007.11.23
第10回	横田雅史	愛知みずほ大学人間科学部教授	2008.12.6-7
第11回	津田彰	久留米大学文学部心理学科	2009.12.12-13
第12回	田中大介	昭和大学医学部准教授	2011.3.26-27※
第13回	松寄くみ子	跡見学園女子大学文学部臨床心理学科教授	2011.12.17-18.
第14回	神山潤	東京ベイ浦安市川医療センターCEO	2012.12.1-2.

※東日本大震災後の
ため後日誌上開催

第14回日本子ども健康科学会学術大会プログラム

発行日:2012年11月10日

発行者:第14回日本子ども健康科学会学術大会

会長 神山潤

〒279-0001 千葉県浦安市当代島3-4-32

東京ベイ浦安市川医療センター内

第14回日本子ども健康科学会学術大会準備委員会

e-mail: j-kohyama@jadecom.or.jp